



令和6年のスタート 本年もよろしくお願ひいたします

3学期始業式 学校長の話「辰年」 (要約)

新年明けましておめでとう。今年も学校目標にある「知恵とたくましさ」を身につけられるように、そして安全安心な学校であるように、みんなで考えて実践していきましょう。

1月1日の能登半島を中心とした地震災害によって被災された方々へのお見舞いと亡くなられた方々へのお悔やみを申し上げます。生徒の皆さんも亡くなられた方々のご冥福を心の中で祈ってください。

今日は2つの話です。年末にNHK「チコちゃんに叱られる」で「なぜ、十二支の中で辰(たつ)だけ架空の生き物？」という話題があり、気になったので今日は「辰」に関わる話をします。それと終業式後の「SPTAで話そう会」についても話をします。

まずは、辰野町は辰の字がつく町ですが、辰の字がつく市町村は全国にいくつあるでしょう？ ある新聞で読みましたが、地名としては各地にあるようですが、市町村名となると全国で1つ、辰野町だけのようです。では、なぜ辰野という名前がついたのか、いつから辰野と呼ばれているのか。調べてみるのもよいかと思います。

さて、インターネットでいろいろと検索して読んでみると、十二支は中国から伝わったもので、そもそもは生き物ではなく、読み方も中国由来ですので「たつ」ではなく「しん」のようです。それで、中国の古い本では辰という漢字は「ふるう、ととのう」を意味する「振」という漢字であると書いているものがあるようです。陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態を表すと解釈されています。

「振」、訓読みでは「振る」という読み方があります。小さい頃に野球で遊んでいるときに言われました。「バットを振らなければボールには当たらない」。やってみなければ始まらないということですね。やってみても失敗はあります。悔しいとか恥ずかしいとかありますね。それでもやってみなければできるようにはならないし、失敗が多いほどできたときの喜びは格別ですね。

全国で唯一、辰のつく町に住む私たちです。辰年という成長の意味合いのある年です。大いにチャレンジする1年にしてほしいと思います。

もう一つ、「SPTAで話そう会」についてです。各学年から切れ目なく多くの発言がありましたが、特に2年生の発言が多かったです。いよいよ本格的に学校を背負って立つ2年生の発言が一番多かったことに、2年生の強い気持ちを感じました。活躍を期待しています。

12月の活動ふりかえり

- 1～8日 保護者懇談会
- 14日（木）1年おしごとチャレンジ
- 15日（金）2年性教育講演会
- 19日（火）生徒総会・引継ぎ会
- 22日（金）2学期終業式・SPTAで話そう会
- 23日～1/8 年末年始休業



おしごと
チャレンジ



多くの仕事に触れる機会となりました。
来年の職場体験につなげていきます。



生徒総会:無事に今年度の事業報告が承認されました。引き続き来年度生徒会役員が紹介され、2年生に引き継がれました。3年生お疲れさまでした!2年生、よろしく頼みます!



性教育講演会:おひさま助産院小林まゆみ先生のお話をお聞きました。



終業式:各学年の代表者が、2学期に努力したことや成果や課題、3学期の目標や下級生へのメッセージなどを発表してくれました。

「SPTAで話そう会」:

S=student(生徒)/P=parent(保護者)

/T=teacher(先生)/A=association(団体)

による初めての話し合いの場が持たれました。事前のアンケートを受け、おもに「制服」について全校から様々な意見が出されました。来校いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

